

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
大宮国際 動物専門学校	平成14年3月29日	下 菌 智一	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-289-2 (電話) 048-648-8400			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 シモンノ学園	平成9年1月27日	下 菌 恵子	〒154-0011 東京都世田谷区上馬4-3-2 (電話) 03-5430-4400			
目 的	地球温暖化や都市開発化が及ぼす自然破壊など地球上に生息するあらゆる動植物と自然環境との関係を総合的に学び、動物の保護と飼育管理技術を身につけた人材育成を目的とする。					
分 野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教養	動物管理 専門課程	国際海洋・ 飼育学科	2年(昼)	1,800単位時間 (又は単位)	平成17年3月9日 文部科学省 告示第32号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,455 単位時間 (又は単位)	10 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	355 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	86人	4人	6人	10人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無 ■成績評価の基準・方法について 試験による		
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏季：7月24～8月31日 ■冬季：12月23日～1月8日 ■春季：3月22日～4月9日 ■学年末：3月31日		卒業・進級条件	修了すべき学科目について試験を行い、合格者に対して当該学科目の修了を認定する		
生徒指導	■クラス担任制 <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無 ■長期欠席者への指導等の対応 担任及び学校カウンセラーが対応		課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動 <input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無		

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等：動物園 水族館・牧場・ペットショップ</p> <p>■就職率※1：100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合： 100%</p> <p>■その他（任意） （平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報）</p>	主な資格・検定	動物飼育管理士2級、3級
中途退学の現状	<p>■中途退学者 3名 ■中退率 3.3%</p> <p>平成27年5月1日在学者 90名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 87名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的、進路変更、健康問題等</p> <p>■中退防止のための取組 経済的支援、担任・スクールカウンセラーによる相談</p>		
ホームページ	URL: http://iac.ac.jp		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

- ・動物園、水族館で求められるスキルの一つである様々な動物に対してエンリッチメントを提供できる人材を育成する。
- ・様々な視点で物事を考えられる人材育成のため特別講義、卒業生の授業を取り入れご指導いただく。
- ・仕事をする上でプロ意識や動物を扱うことの生命倫理などを考えられる人材を育成するために企業と連携を図り実際に授業のご指導をいただく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 4 月 1 日現在

名 前	所 属	名 前	所 属
下 菌 恵子	大宮国際動物専門学校教職員	佐藤 理子	大宮国際動物専門学校教職員
下 菌 智一	大宮国際動物専門学校教職員	小川 大	大宮国際動物専門学校教職員
今西 孝一	大宮国際動物専門学校教職員	樫山 大	大宮国際動物専門学校教職員
大坪 利久	大宮国際動物専門学校教職員	酒井 健夫	日本大学 名誉教授
吉川 鉄平	大宮国際動物専門学校教職員	細井戸 大成	公益社団法人 日本動物病院協会 会長
山下 真理子	大宮国際動物専門学校教職員	大澤 健	大沢動物病院 院長
大木 隆昌	大宮国際動物専門学校教職員	小林 孝之	アニマルクリニックこばやし 院長
佐藤 絵里砂	大宮国際動物専門学校教職員	田中 健司	株式会社西武ペットケア 代表取締役社長
関根 和子	大宮国際動物専門学校教職員	小高 洋子	大宮公園小動物園
羽生 晃子	大宮国際動物専門学校教職員	須山 雄次	犬の保育園 FIELD U 代表

(開催日時)

- 第 1 回 平成 28 年 6 月 1 日
- 第 2 回 平成 28 年 8 月 2 日 (予定)
- 第 3 回 平成 28 年 11 月 22 日 (予定)
- 第 4 回 平成 29 年 2 月 28 日 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

- ・動物のプロとしての意識をしっかりと身に付けるために、動物関連施設において研修を実施しプロの仕事を学ぶ。
- ・多種多様な動物に対応できる技術を身に付けるため、また学校では飼育することができない動物の飼育・管理及び扱う技術を身に付けるために研修先にて動物を扱う研修を実施する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
動物園学	動物園の役割、動物展示、飼育展示員の業務を学ぶ	大宮公園小動物園

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

<専攻分野>家畜、家禽による考え方、知識、技術及び動物園、水族館の飼育・管理に関する知識、技術の修得をする。

<指導力>自然環境実習に関する知識、技術の修得をする。

新任教員基礎研修の修得をする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 4 月 1 日現在

名 前	所 属
横田 淳子	一般社団法人日本動物看護職協会
田中 健司	株式会社西武ペットケア
宇佐美 孝	大宮国際動物専門学校卒業生
篠田 こずえ	大宮国際動物専門学校保護者

(開催日時)

第 1 回 平成 28 年 4 月 28 日

第 2 回 平成 28 年 8 月 30 日 (予定)

第 3 回 平成 28 年 10 月 4 日 (予定)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://iac.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://iac.ac.jp>

授業科目等の概要

(動物管理専門課程 国際海洋・飼育学科) 平成 28 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			英語・英会話 I	実践的な英会話及び動物関連の英語を学ぶ	2 後	15		○		
○			業界比較研究講座	動物業界の様々な企業に対する知識及び情報を得る	1 通	30		○		
○					2 通	30		○		
○			就業力養成講座	7つの習慣 J を使い、人間力・社会人力の養成をする	1 通	30		○	△	
○			生物・化学	基礎的な生物学・化学について学ぶ	2 通	30		○		
○			イヌ学 I	イヌの歴史、行動、犬種、生態、飼育管理などについて学ぶ	2 通	30		○		
○			ネコ学 I	ネコの歴史、生態、種類、飼育管理などについて学ぶ	2 通	30		○		
○			解剖生理・免疫血液学 I	動物の身体の作りや仕組みについて学ぶ	1 通	60		○		
○			解剖生理・免疫血液学 II	動物の身体の免疫反応や血液について学ぶ	2 通	30		○		
○			公衆衛生・食品衛生学 I	食品衛生及び感染症、細菌、真菌、ウイルスについて学ぶ	1 通	60		○		

○		公衆衛生・食品衛生学Ⅱ	寄生虫や人畜共通感染症について学ぶ	2通	60		○		
○		看護臨床学Ⅰ	動物看護の概論、動物看護の技術の基本について学ぶ	1通	60		○		
○		看護臨床学Ⅱ	各種疾患に対する動物看護を学ぶ	2通	75		○		
○		野生動物概論Ⅰ	陸上の野生動物及び自然環境について学ぶ	1通	30		○		
○		野生動物概論Ⅱ	海や川の野生動物及び自然環境について学ぶ	2通	30		○		
○		動物園概論Ⅰ	動物園とは何か。動物園の役割りや展示方法について学ぶ	1通	30		○		
○		動物園概論Ⅱ	動物園における飼育展示員の業務について学ぶ	2通	30		○		
○		野生動物保全論Ⅰ	野生動物の現状を学び、その中でも特に絶滅危惧種や絶滅動物について学ぶ	1通	30		○		
○		自然保護論	自然環境や野生動物に対する、企業活動と自然保護について学ぶ	2通	60		○		△
○		爬虫類飼育管理学	爬虫類の身体の構造、生態、行動、習性について学ぶ	2通	30		○		
○		小動物飼育概論	魚類・両生類・爬虫類・鳥類・小動物の飼育管理・健康管理を学ぶ	1通	30		○		△
○		鳥類飼育・繁殖学	鳥類の身体の構造、生態、行動、習性について学び、更に繁殖についても学ぶ	1通	60		○		
○		アクアリウム学概論Ⅰ	アクアリウムに関する器材や魚類の種類について学ぶ	1通	30		○		△

○		アクアリウム学概論Ⅱ	水生環境作成の水槽レイアウト、水草レイアウトを学ぶ	2通	30		○		△
○		海洋生態学	海洋生物全般に対する生態について学ぶ	2通	30		○		
○		海洋哺乳類学	海洋生物の中の哺乳動物である鯨類や海獣類について学ぶ	1通	30		○		
○		魚類飼育・繁殖学Ⅰ	各種魚類の飼育・管理について学ぶ	1通	60		○		△
○		魚類飼育・繁殖学Ⅱ	各種魚類の繁殖について学ぶ	2通	60		○		△
○		水族館学概論Ⅰ	水族園とは何か。水族園の役割りや展示方法について学ぶ	1通	60		○		
○		水族館学概論Ⅱ	水族園における魚類から海獣類までの飼育管理について学ぶ	2通	60		○		
○		ウマ学Ⅰ	ウマの特徴とタイプ、行動、習性について学ぶ	1通	60		○		
○		ウマ学Ⅱ	ウマの扱い、グルーミング、馬装、病気について学ぶ	2通	60		○		
○		畜産学概論Ⅰ	産業動物・経済動物と呼ばれる動物について学ぶ	1通	60		○		
○		畜産学概論Ⅱ	牧場などにおける畜産業について学ぶ	2通	60		○		
○		飼育管理実習	各種動物の飼育管理法、健康管理法について学ぶ	2通	30				○
○		看護臨床実習Ⅰ	動物の心を知り、衛生管理、保定法、身体検査、投薬、顕微鏡の扱いなどについて学ぶ	1通	180		△		○

○		看護臨床実 習Ⅱ	x線検査、心電図、超音波検査、 外科手術、緊急救命処置の基礎 技術を学ぶ	2 通	60		△		○
○		臨地実習	インターンシップによる学外実 習において、実践力習得を学ぶ	2 通	60				○
合計			38 科目		1800 単位時間				